

海外ルーツの市民と ともにある日本社会 ～シンポジウム報告 (アンケートを中心に)～

海外 ルーツ の市民 ととも にある 日本 社会



近年、海外ルーツを持つ市民が増えている現状に、NPOなどは市民の暮らしと労働を守り、だれも取り残さない様々な取り組みを地域社会で進めています。

このシンポジウムでは、『ふたつの日本「移民国家」の隣人と現実』の著者である望月徹大氏を迎え、日本で暮らす海外にルーツを持つ市民が、私たちと平等に人権を持つことの重要性を理解し、彼らを取り巻く日本社会の課題を把握します。また、中部地域でそれらの課題に取り組む当事者やNPOの活動報告を開き、共生社会実現に向けた私たちができるアクションを考えます。



望月徹大氏
1985年生まれ。ライター。著書に『ふたつの日本「移民国家」の隣人と現実』『国政と移民政策』。認定NPO法人難民支援協会が運営するウェブマガジン「ニッポン難民経済」の編集長を務める。ほかにニュースウィーク日本版でのコラム連載、朝日新聞通信委員など、子どもの権利など様々な社会問題に関わり、絶えず市民の生活にも関わっている。

日時 2022年2月6日(日)
10:30～16:30

会場 JICA中部(名古屋市東区平田町4-60-7)
定員: 60名 受付開始: 10:00 ※先着順

開催方法 Zoom
定員: 60名 入室開始: 10:15

参加方法 どなたでも参加いただけます!
参加をご希望の方は、右のQRコード又は下記URLより事前申し込みをお願いします。
<https://forms.office.com/r/vu5c5g9pNe>

参加費 無料!



概要

目的：NGO/NPOの取り組みを通じて、多文化共生社会の実現に向け、参加者が海外ルーツの市民に関する私たちの社会の課題を理解し、人権についての意識を高める。

概要：『ふたつの日本「移民国家の建前と現実」』の著者である望月優大氏による基調講演、また市民社会における多文化共生の取り組みと課題についての中部地域で活動する当事者やNPOの報告から、海外ルーツの市民を取り巻く日本社会の課題を理解し、共生社会実現に向けた私たちができるアクションを考える。

主催：名古屋NGOセンター、東海市民社会ネットワーク、JICA中部

後援：愛知県、名古屋市、愛知県国際交流協会、名古屋国際センター

協力：公益財団法人名古屋YWCA、NPO法人地域の未来・志援センター、
NPO法人地域と協同の研究センター、中部サステナ政策塾

広報：チラシ（4,500部）、
主催、後援、協力団体でのウェブページ、メールマガジンへの掲載

実施方法：オンライン（Zoom）

申し込み：212名

参加者：157名（+ 運営側36名） ⇒ **参加率**：74%

アンケート

◆ 回答：84名 （回収率：53.5%）

◆ 項目

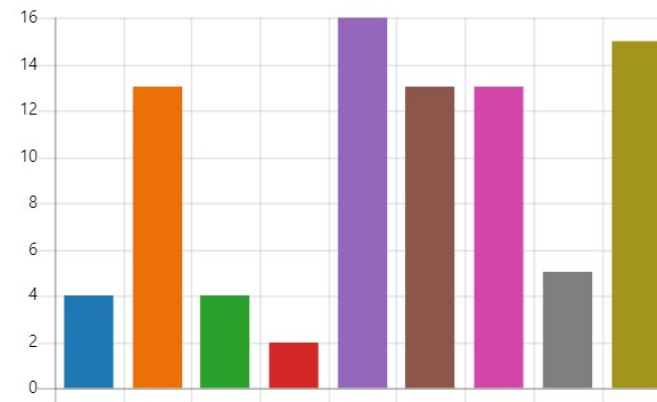
- ・ 参加者の属性、参加理由
- ・ シンポジウムをどこで知ったか
- ・ 満足度とその理由
（基調講演、3つの現場からの報告、ワークショップ、シンポジウム全体）
- ・ シンポジウムについての意見、感想
- ・ NGO/NPOやJICAとの連携アイデア、今後の企画を検討するにあたって関心のあるテーマ

アンケート結果①

～参加者の属性～

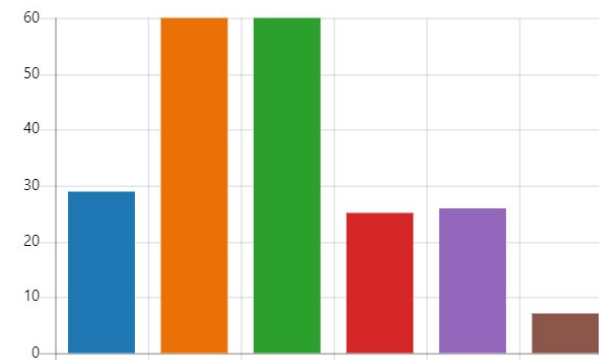
◆ 参加者所属先

- 自治体関係 4
- NGO・NPO関係 13
- 民間企業（外国人受け入れ企業） 4
- 民間企業（外国人を受け入れていない企業） 2
- 教育関係（教員等） 16
- 学生 13
- 無所属 13
- JICA関係 5
- その他 15
（労働組合、法律事務所、地域日本語教師、日本語教室等）



◆ 参加理由（複数回答可）

- 望月氏の講演 29
- 多文化共生に関心がある 60
- 海外ルーツの市民に関心がある 60
- NGO/NPOの取り組みに関心がある 25
- JICAの取り組みに関心がある 26
- その他 7
（技能実習制度に関心がある、ボランティアで外国人に関わっていた、異文化理解の促進をしたい、人権問題に関心がある、今の職場（労働組合）での仕事内容から）



アンケート結果②

～広報について～

◆ シンポジウムをどこで知ったか。（複数回答可）

● 名古屋NGOセンターのお知らせ 12

● チラシ 27

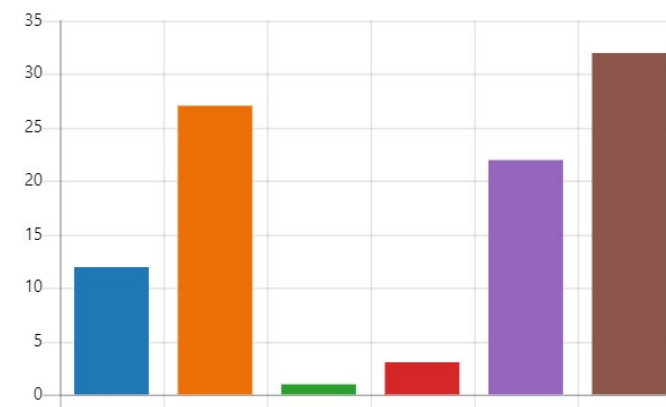
● 市民国際プラザ掲示板 1

● 自治体、国際交流協会からのお知らせ 3

● JICAやJICA中部なごや地球ひろばからのお知らせ 22

● その他 32

（東海社会市民ネットワーク、ボラみみ、
名古屋YWCAからのお知らせ、紹介（大学、登壇者等）、
図書館の冊子置き場、愛知国際プラザ設置資料コーナー、
ボランティア教室、Facebook等）



アンケート結果③

～満足度①～

◆ シンポジウム全体の満足度



評価の平均 4.25

内訳

5 : 39名

4 : 29名

3 : 13名

2 : 1名

1 : 1名

◆ 理由

- ・ いろんな角度からの問題提起、意見をきけたことがよかった
- ・ 話を聞くだけでなく、参加者の考えを共有する時間を持つことでより深い学び、具体的な目標につながる、よいプログラム構成だった
- ・ 中部地域での多層的な活動を知ることができた
- ・ 海外にルーツをもつ方々を取り巻く課題には、NGO/NPOや市民が結集しており組む必要があるため、このような場があることは大切だし、続けていくことが必要
- ・ 3つの現場のテーマを個々に深掘する機会があればよい
- ・ 海外ルーツの市民の抱える問題について理解を深めることが出来た

△ ワークショップの時間が短かく、アクションについてのアイデア共有ができるとよりよかった

△ 時間が長い

△ 会場でできるとよかった

アンケート結果④

～満足度②～

◆ 基調講演の満足度



評価の平均 4.30

内訳

5 : 45名

4 : 29名

3 : 6名

2 : 1名

1 : 1名

◆ 理由

- ・ データを示しながら説明していただき、また課題が整理されていて、わかりやすかった
- ・ 統計や事例などエビデンスに基づいた多角的な視点から外国人労働者の在り方を知ることができた
- ・ 日本社会において、外国人労働者を必要としている背景や海外ルーツの市民や技能実習制度についての状況、課題について理解が深まった
- ・ 外国人労働者の問題が、制度や社会的な問題を個人化してしまう日本社会が生み出してしまっているという点、共生社会とは何かを考えさせられた

△既知の内容が多かった、新しい情報はなかった

アンケート結果⑤

～満足度③～

◆ 3つの現場（地域と職場、技能実習生、学習）の満足度



評価の平均 4.23

内訳 5 : 42名
4 : 22名
3 : 14名
2 : 3名
1 : 1名

◆ 理由

- ・現場で活動されている方や当事者のリアルな声が聞けた
- ・実際の声や経験談を聞けると具体的に想像でき、自分が何ができるか考えることができる
- ・それぞれ異なる現場のお話を聞くことで、海外にルーツをもつ方々が様々な問題に直面しているのだと感じた

～地域と職場～

- ・南米出身定住者の雇用の問題や高齢化に関する不安、技能実習生に対する複雑な心境が良く分かった

～技能実習生～

- ・技能実習生の駆け込み寺として解決に尽力されていて頭が下がった。実習生の経験談と率直な気持ちを聞けて、もっと実態を知らなければと思った。

～学習～

- ・過年齢で来日した方への大きなメッセージになると思った
- ・竹内さんの事例は、ごくまれな成功例だと思う。彼自身が何に悩みんだか、深く知りたかった

△既知の内容が多かった

△テーマが多く、深まらない

アンケート結果⑥

～満足度④～

◆ ワークショップの満足度



評価の平均 3.67

内訳 5 : 21名
4 : 10名
3 : 20名
2 : 4名
1 : 4名

◆ 理由

- ・立場や年齢、違う視点を持つ参加者の多様な意見をきくことができ、考え方の幅が広がった
- ・他の方々の意見を聴くことで、自分の考えの整理ができた

△時間が足りず、実際に何ができるかアクションの部分が議論できなかった

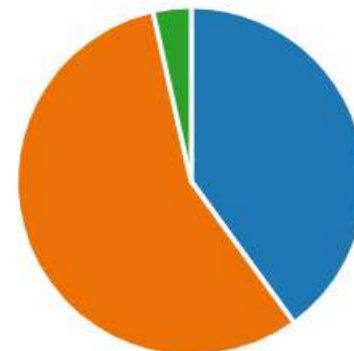
△技能実習生に関するものに偏ってしまった

アンケート結果⑦

～意見・感想～

◆ シンポジウムの時間の長さについて

● 長い	34
● 適切	48
● 短い	3



◆ シンポジウムについての意見・感想

- ・ 多様な参加者と意見交換できてよかった
- ・ 多くの方がそれぞれの立場から課題の解決に取り組んでいることがわかった
- ・ 自分も社会の一員として、自分のことから取り組んでいきたい
- ・ JICAが国内における海外ルーツを持つ方々への支援に関する取り組みをしていることが知れて良かった、またJICAとして送り出し国との連携でできることがあるのでは。

△ 内容が盛りだくさん、深めたほうがいい、個別に取り上げて課題を深める

△ 時間が長すぎる

アンケート結果⑧

～連携アイディア・
関心のあるテーマ～

- ◆多文化共生
 - ・意識啓発（無関心層へのアプローチ）
 - ・国内外の事例
 - ・海外ルーツの市民の地域活動への参加事例
- ◆海外ルーツをもつ児童や生徒の学習について
 - ・日本語・母語教育、教育体制、キャリア支援等
- ◆技能実習や特定技能に関する制度について
 - ・企業での成功例